

## 目的

- ・中小企業が越境による「学びのシェア」を体験しながら、組織的に「人的資本経営」に取り組みやすい環境を作っていく
- ・中小企業と大学や企業間におけるネットワーク構築の機会を創出していく
- ・学生に対して、中小企業に関する興味や関心、知識を得る機会を創出することで、中小企業におけるビジネスの在り方、働くことの意義や理解を醸成していく

## 連携の例

- ・学生が中小企業を訪問し、工場見学により現場を体感するとともに経営者や社員と意見交換を実施
- ・中小企業が学生に向けて自社紹介やキャリア（働くこと）に関する講演授業を実施
- ・中小企業の採用活動に関するテーマ（採用コンテンツ等）でワークショップ型授業を実施
- ・中小企業が学生に新規事業開発プロセスをレクチャーし、学生とビジネスモデルを立案する連続授業を実施

## 企業様が得られる学びの例

- ・学生に対して自社の特徴を伝えることの難しさを肌で感じた。自社が若い世代からどのように見えているのか、何が強みとなっているのかを知る良い機会であり、今後の情報発信にあたり有益であった。
- ・社員にとっても学びがあり、育成の場となった
- ・多くの学生が自社に興味や関心を持ってくれたことは大きな励みであり、採用活動のヒントにもなった
- ・学生からの発表で出てきた学生の視点と意見は大変参考になった

## 1. 取組内容

この連携授業では、製造業やIT業の2つの連携企業の社員を別々の授業日にお招きしてワークショップを開催しました。学生の皆さんは、各連携企業の採用活動についてグループごとに事前調査を行い、学生の目線で企業の良い点や改善点を分析し、その結果をもとに、各企業へプレゼンテーションを行いました。次に、各連携企業の社員の方から会社の概要や採用活動について説明があり、その後、学生と企業の双方がそれぞれの視点から気づきを共有しました。この大学連携を通じて、学生の皆さんは製造業やIT企業の実際の仕事内容について深く理解し、就職活動の視野を広げることができました。一方で、連携企業の社員の方は製造業やIT業界の業務内容や特性を学生に伝える難しさを再認識し、自社の強みをより効果的に伝える必要性に気づくことができました。学生と企業の双方にとって非常に有意義な学びの場となりました。

## 2. 連携企業の社員の方の学びや気づき

### ○1社目（製造業）

・当社で実施しているカジュアル面談は自由な服装で参加をお願いしており、リクルートスーツでの参加はお断りする場合がありますが、HPへ掲載していますが、学生から具体的にどんな服装で参加すればいいのか悩むといった意見が出ました。自分らしさを大切にしてほしいからこそ自由な服装で参加してほしいといった思いがある中で、どんな服装であればよいのかといった具体的な事例をHPで案内してもよいかもしれないと思いました。

・Instagram、X、YouTube等のSNSで会社のPRや採用活動を発信しています。学生の皆さんの発表を聞いてSNS間の連携がないことに気づきました。各SNSアカウントや投稿時に他のSNSのリンクを追加するアイデアは良いと思いました。タッチポイントを優先し広く目に留まるようにという発想が印象的でした。

・当社の採用プロセスではミスマッチをなくすため、良い所もそうではないところも本音で対話しています。学生の皆さんと意見交換する中で、ミスマッチをなくすためにインターン制度があってもよいと感じました。もし私が学生の時にインターン制度があったら、より深い本音を知れたかもしれないです。

### ○2社目（ITソリューション業）

・当社はYouTubeショートでランチ動画を掲載しています。学生の皆さんからのご意見でなぜランチ動画をあげているかといったご質問がありましたが、社内からの発案で始まった経緯でした。その背景を改めて振り返ると、主体的にやりたいことができる組織文化があるからだと改めて気づかされました。チャレンジできる文化をより伝えていくことが求められると感じました。

・学生の皆さんからSNS採用のニーズを得ることができました。InstagramやYouTubeで「人を大切にしている会社」であることをもっと伝えていくことも大切だと感じました。また、実際の職場や業務内容についての投稿も良いアイデアだと思いました。

・当社では下請の案件をあえて引き受けてません。それは、お客様と対話していく中で、本当に求められるニーズを満たすシステムやサービスを提供しているからです。だからこそ、やりたいことを具現化できる環境にあります。また、福利厚生において家賃補助や奨学金変換支援を行っています。それらの魅力が学生へ伝わっていない部分があったため、HPやSNSの改善の余地があると思いました。

### 3. 学生の皆さんの学びや気づき

- ・学生の多くはナビサイトで就活しています。しかし、今回の企業さんのようにナビサイトへ掲載していなくても企業の中にも魅力的な企業があることを知りました。大手企業への就活だけではなく、今回の企業さんのように「すごい会社をつくっていく一員」になることを目標に就活をしたいと思います。
- ・当初、求人広告へ記載のある「自分らしい服装で面接へ参加すること」が難しいと感じていました。しかしその背景には、自分らしさをアピールできる人材が欲しいという理由があると分かり、納得できました。社員の方々は魅力的な人ばかりで、良い会社には良い人が集まるのだと実感しました。
- ・ホームページを見るだけでは、専門用語などが多く、仕事の内容もどういった仕事をしているのかがよくわかりませんでした。しかし、会社説明を直接聞くことで、お客様の仕事をより良くするためのサービスを提供していることを知ることができました。
- ・文系でもIT業界で活躍できることを意見交換の中で知ることができました。

### 4. 先生から一言

- ・企業と学生が各立場の視点で意見を交換できる貴重な機会となりました。人事関連の研究をしている中で様々な企業と関わってきましたが、1社目の連携企業さんはその中でも、人を大切にしている取り組みを行っている企業でした。自分らしい成長を応援する制度などのゲーミフィケーション（楽しみながらレベルアップを図る組織づくり）が興味深いと感じました。
- ・また、2社目は多重下請け構造のIT企業さんと連携させていただきました。IT企業のほとんどの企業が二次請けである中で、今回の企業さんのようには一次請けで取引している企業は多くはありません。一次請けであればクライアント企業と対話して、求められるシステムを作っていますが、二次請け以降はシステムの一部を担当するため、こういったものを作っているかわかりにくく、納期に追われることが多々あります。仕事のやりがいという点では一次請けの方が高いのですが、学生側にその良さが伝わりづらいのが課題だと感じました。

### 5. 連携授業の様子

